

【磐井川水天宮】

一関市田村町の磐井川沿いには磐井川水天宮があります。磐井川水天宮は、水難者を慰霊し水魔を払おうと1927年（昭和2年）に河川敷に建立されました。1947年、1948年（昭和22年、23年）のカスリン、アイオン両台風で流失したものの、再建されました。その後、磐井川堤防改修工事に伴い移転されることとなり、旧社殿は2017年（平成29年）秋に解体されました。そして、2019年（令和元年）7月に現在の場所に移転新築し落成しました。

二度と悲惨な水害が起こらないことを願う人々の願いが込められています。



地域の安泰を見守ってくれているんだね。



一関遊水地 周囲堤の活用!!

一関遊水地周囲堤は、洪水から市街地を守るために作られました。普段はランニングやウォーキングなどにも利用されています。

今の時期は、遊水地千本桜や一関遊水地記念公園の桜が開花しています。また、一関遊水地記念公園の桜は種類が複数あるので、木によって見ごろが異なり長く楽しめます。

今年は難しいですが、例年多くの家族連れなどで賑わっています。



編集後記

磐井川水天宮は、一関夏祭りなどの行事成功祈願が行われるなど地域に根付いたものとなっています。シンボルとして今後も大事にしていきたいと感じます。（と）